



JA草津市 自己改革の取り組み報告

2018年12月末

JA自己改革

JA草津市は、組合員と地域社会から期待される役割を果たすべく、「創造的自己改革への挑戦」に向けた取り組みとして、「地域農業改革」「地域暮らし改革」「経営基盤改革」の三つの改革を掲げ、自らのJA改革に取り組んでいます。

1 地域農業改革

農家組合員の所得増大と農業生産の拡大

①直売米の販路拡大を図り、農家所得の増大に努めています。



②新たなブランド米、みずかがみの作付拡大とゆりかご水田米の支援に努めています。



③2018年度水稲肥料より、JAグループ化成肥料銘柄集約に参加し、生産コスト低減を図りました。



⑤農産物のブランド化に向け、草津メロンが特許庁の地域団体商標を取得し、新たな取組みとしてプレミアムメロン頂(タカミ)の販売を実施しました。



④農業者や農業法人の経営支援として農業資金応援キャンペーンを2018年度も実施しています。



⑥JA提案型販売体制として、学校給食やレストラン、市内のホテル等に野菜の提供をしました。



愛彩菜

琵琶湖元気 アスパラ

琵琶湖からすま蓮根

2 地域暮らし改革

総合事業による地域の活性化と暮らしの支援

①「食」「農」「暮らし」をテーマとした学びの場である「女性大学」6講座を「楽習(がくしゅう)講座(こうざ)」5コースを開講中です。



②アグリキッズスクール(野菜ソムリエ)開講

草津市在住の小学生を、草津産野菜に触れ、学ぶ『キッズ野菜ソムリエ育成プロジェクト』を開講しました。



③草津あおばな館(直売所)の交流イベントとして料理教室の開催や営農課と連携したJA・PR田での(ミニトマト収穫体験型・サツマイモ収穫体験・ひまわり畑)を実施し、多くの方の参加をいただきました。



トマト収穫体験

さつまいも収穫体験

ひまわり畑

④シニア層に向け、年金感謝デー、年金友の会による観劇会(山本譲二ショー・グラウンドゴルフ大会・親睦旅行)等実施しました。



⑤若年層へのPRに新たな取組みとして、農業祭をai彩ひろばで「びわ湖手作り市」と共催で行い、多くの方の来場を頂きました。



3 経営基盤改革

自己改革を支えるJA経営基盤の確立

【組合員1万人をめざしたJAの基盤づくり】

①正・准組合員の加入推進を行い、2017年度735人の新たな組合員に加入いただいた結果、2018年度最終目標10,000人を、早期に達成しました。



②地域コミュニティの拠点となる新店舗(志津支店・常盤支店・草津支店)が完成し、山田支店について2019年度中の完成を目指し計画中です。

山田支店完成イメージ



2013年1月志津支店完成



2016年1月常盤支店完成



2018年1月草津支店完成

③2019年の次期役員改選に向け「役員体制検討委員会」による検討を重ね、経営管理委員会において新たな役員体制を決定し、2018年6月23日開催の総代会において「定款及び定款付属書役員選任規程の一部変更について」を承認いただきました。

